

助成受給団体	気仙地区防犯協会連合会
事業の名称	応急仮設住宅に結成される自主防犯組織に対する支援事業
実施期間	平成24年8月1日 ～ 平成25年2月28日
<b>事業内容</b> 気仙地区管内には、92箇所、7805世帯の仮設団地があります。 震災後、仮設団地内には25箇所に自主防犯組織が結成され、うち、11箇所は平成24年度中に結成されたものです。 それぞれの地区の防犯協会員、防犯隊の方が中心となり、仮設団地内に結成された自主防犯組織の方々と一緒に週1回程度昼と夜、支援していただいた蛍光色のベスト、キャップ、腕章、そして停止棒を着用しパトロールを実施しています。 停止棒については、街灯などまだまだ少なく、暗い夜間のパトロールの際、大変助かっていますとの声がありました。団地内でイベント等が行われる場合や地域安全運動期間中などは特にパトロール警戒を強化し、実施しております。 さらにベスト着用し、鍵掛け、オレオレ詐欺等のチラシ配付も定期的に行っております。	
<b>事業の成果</b> 仮設団地によって規模も様々であり、高齢者の多い仮設団地や日中は、仕事へ出かけ留守の世帯の多い仮設団地があります。 また、以前とは全く環境が変わり、まだそのような活動にまで手が回らない方や、率先して前向きに活動する方々など事情は様々です。 今回の支援事業で、仮設住宅における自主防犯組織の結成と運営の支援を行った結果、「自分たちの安全は自分たちで守る」という気運が一層高まり、居住する方からの感謝の声も高まり、住民の絆が深まり、精神的な面での復興にも良い影響を与えている。	
<b>今後の課題</b> 各地区防犯協会との関係を密にし、防犯ボランティア活動に携わる方や仮設住宅で暮らす方々が、前向きになれる取り組みを考えていきたいと思っております。	

